

教材・教具名	朝の会、帰りの会進行表
教科（分類）	特別活動（朝の会、帰りの会）

教材・教具写真

朝の会

(1) 号令	日直「これから朝の会を始めます。姿勢、礼、おはようございます。」
(2) 健康観察	日直「健康観察をします。〇〇さん、〇〇さん・・・」 ※保健係：健康観察簿に記入する。
(3) 時間割の確認	日直「時間割を確認します。1時間目〇〇、2時間目・・・」
(4) 連絡	日直「係からの連絡や話し合うことはありますか？」 ※短い時間で決めなければいけないことがあれば決めたり、話し合ったりする。（係やクラスのことなど）
(5) 先生から	日直「先生からの連絡です。〇〇先生、お願いします。」
(6) 号令	日直「これで朝の会を終わります。姿勢、礼、ありがとうございます。」

授業についての連絡や確認事項も生徒同士で行えるようにしている。

帰りの会

(1) 号令	日直「これから帰りを始めます。姿勢、礼、お願いします。」
(2) 振り返り	日直「振り返りをします。今日できたことやできな してください。〇〇さん、〇〇さん・・・」 分かったこと、嬉しかったこと、 気づけたこと、 〇〇の素敵な姿発見! など
(3) 時間割の確認	日直「明日の時間割を確認します。1時間目〇〇」 ※必要であれば、授業場所や持ってくるものなどの確認
(4) 連絡	日直「係からの連絡や話し合うことはありますか？」 ※短い時間で決めなければいけないことがあれば決めたり、話し合ったりする。（係やクラスのことなど）
(5) 先生から	日直「先生からの連絡です。〇〇先生、お願いします。」
(6) 号令	日直「これで帰りの会を終わります。姿勢、礼、さようなら。」

自分から発信しにくい生徒も伝える機会があることで、話し合いの主体になることができている。また、教室のホワイトボードにTODリストの欄を作ることで、それと合わせて全体でやるべきことの確認もできるようになってきた。

- 1 児童生徒の実態
係や代表など自分の役割があっても教員に言われるまで、自分のやるべきことや決めるべきことができない。
係や代表などで決めたり連絡したりすることが自分から発信できない。
- 2 期待する効果、伸ばしたい力
教員がいなくてもできるだけ自分たちでやるべきことや決めるべきことを考えることができる。
全てを友達に任せるのではなく、自分の係の役割を意識し、責任をもってやり遂げる。

